

会

報

第8号

昭和55年9月 発行
 発行所 早稲田ヨットクラブ
 発行部 船部
 事務局長 隈部 鶴
 会費振込先 日本橋支店
 第 勤業銀行 一四四五七三九
 普通預金 口座番号
 ワセダヨットクラブ 堀江喜三

早稲田ヨットクラブ

盛會裡に

小沢会長の古稀祝賀會



7月11日、早稲田大隈會館で小沢会長の満70才の古稀祝が開かれた。

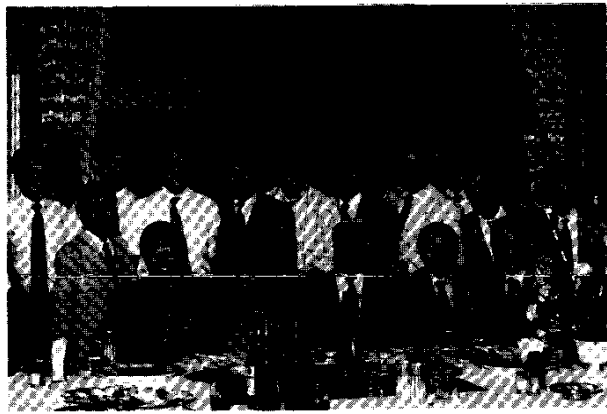
小沢御夫妻を迎えての当夜の祝宴にはOB 65名、学生25名が参集し、会場中央の壁には白地にエビ茶のWのマークがある特別詠えの大旗が飾られ、早稲田の栄光のバックミュージックの流れる会場に、学生の捧げ持つ部員の先導で御夫妻が入場するという具合で、かなり恰好の良いスタート。

松山さんや、矢頭先生の祝辞があり、「白寿は無理でも、米寿の祝いが出来る様に」と、小沢先輩を励まし、故大原弘

山氏の孫娘である大原奈帆ちゃん(4)が、小沢夫人に花束を贈る。

祝賀會の演出は、スーさんこと杉山博保氏が中心になって、スーさん、スーさんの編集した早稲田歌集のコピーが配られ、おなじみの「僕はワセダのヨットマン」や、ツンツン節が出たり、女子部員によるヨット部のTシャツ宣伝用ファッションショー(シャツの欲しい方は、加藤監督に電話されたし)が行われたりで、ワイワイガヤガヤ。

大会旗と称する前述の大旗には、清水早大総長の小沢先輩への祝辞が墨痕あざやかに記され、参會者もそれに習って、各自のサインをし、当夜の記念にと、小沢さんへ贈る。記念品はまだまだたくさんあり、家に居てもヨットを忘れぬ様にと、チーク材のバックボードに固定された点鐘時計や、田窪さん手作りのドラゴン級ハーフモデル等、飛び入りとしてヨット部よりLLサイズのTシャツ一枚。小沢さんも義理を感じてか、早速上半身はだかとなり、Tシャツを着用。更にその上にYシャツ、ネクタイ・ブレザー迄着用



し、学生とOBの両方に礼を尽した所はさすが天皇。

帆走指示書に「抗議は一切認めない」が、酒の追加要求を受付ける」旨記載があったせい、ウイスキーの追加が際限なく続き、大隈會館側のタイムリミットによって、帆走委員(金庫係)の浜田氏はホツとした様子。

幸いにも、関西から石川武夫氏が関西OBの寄附金を集めて馳参して呉れたし、在京OBでも、同夜都合のつかない森繁氏他多数の方が寄附されたお陰で、収支は黒となり、ヨット部遠征資金に若干の寄附が出来るといふ、帆走委員会としては万幸めでたしという結末。

合唱となり、部旗と共に御夫妻の退場となった訳であるが、「小沢さんアンコール」の拍手鳴り止まず、更び小沢先輩の入場となり、奥さんハラハラ。当夜の司會を命じられた私は、小沢先輩の栄光をより盛り上げたいと、馴れない役目を懸命につとめたものの、御夫妻を送り出す車の手配をすっかり忘れ、最後にドギマギ。松山先輩の運転手付の車によって助けられ、やっと失格をまぬがれたという次第で、改めて皆様に感謝致します。(舟岡記)



追記 このたびの古稀の祝につき、小沢先輩の輿様より礼状が来ておりますので原文にてご紹介致します。
 拝啓 梅雨の候益々御健勝のこととお慶び申し上げます。
 扱この度は信三郎古稀の祝に御招待いただきまして、誠に有難うございま

小沢信三郎氏 古稀の祝い収支決算報告 (会計 浜田)

収入の部		支出の部	
出席者会員(63名)	376,000	会場費	266,840
寄附金 (7名)	44,000	小沢氏記念品代	61,260
関西O・B寄附金(11名)	22,000	内訳	
小計	442,000	サイン入旗代	18,000
		点鐘時計	35,000
		芳名録	1,500
		写真アルバム代	6,760
		早大総長お礼(フット)	20,600
		プログラム・印刷郵便代	43,000
		雑費(マジックペン、ノート)	1,000
合計	442,000	小計	392,700
		ヨット部寄附	49,300
		合計	442,000

後述の通り収支決算につきご報告申し上げます。

小澤信三郎・桃代

敬具

た。ワセダヨットマンに囲まれながら人限会館で盛大に御祝していただき、幸せ一ぱいのひとときを過ごすことが出来光栄に存じました。又記念品も頂戴致し御厚情の程厚く感謝致しております。ヨットクラブが益々ご繁栄致しますと共に皆様方の御健康を心から祈念致し御礼の御挨拶申し上げます。先ずは書中にて御礼申し上げます。

木曜日より(例会報告)

3月13日(木) 永楽クラブ 理事会
(出席) 小沢 隈部 田窪 堀江 渡辺 安藤 岩本 浜田 杉山 加藤文 石田 以上十一名。

(議事) (1)事務局連絡先を米田晴二(2)氏が転動になったため、浜田裕(3)に移す事を了承。

(2)引継の会計報告と55年度ヨット部の新艇建造に対する援助五十七万円について早急の会費、募金の促進の件

(3)会報第七号の発行について
(4)合宿所の隣の村田氏の告別式に対しクラブとヨット部名で供花をす。

4月10日(木) 永楽クラブ 世話人会
(出席) 安藤 浜田 頼

(議事) (1)稲竜の54年度決算と予算についての報告し次回の理事会にて討議

4月22日(木) 永楽クラブ 臨時理事会
(出席) 堀江 隈部 田窪 杉山 加藤 以上5名。

(議題) ①例会の運営について
②会費の納入促進について
③稲竜の55年度予算について

例会の出席が通知のみでは参集しない要あり、当分若年中心で運営をしてはどうかとの意見から暫定的に三〇年代以降の理事を中心とする出席、運営を……特に今迄米田晴二氏の一人に任かせていた点を反省しクラブは組織的にかつ年代に限ることなく各年代の意見を反映さ

せる平等の立場として……等々の意見が出た。

5月15日(木) 永楽クラブ 理事会
(出席者) 安藤 浜田 杉山 舟岡 加藤文、以上6名

(議題) ①会費及び募金運動について 堀江理事長名で現況と協力要請を通知する事とした。

②四大学O・B戦について 舟岡氏より今年にはワセダが当番で今迄の關係上私が準備を進めるとの報告あり、

③小島合宿所の件
④早稲田百年祭に関して 百年祭の寄附についてヨット部では学校との交渉、小沢・堀江先輩にお任せして。

6月12日(木) 永楽クラブ 世話人会
(出席) 隈部 田窪 伊井 渡辺 安藤 杉山博 舟岡 加藤文 大原義 松島 大 杉山孝 以上12名

①クラブ・例会運営について
②小沢信三郎先輩の古稀の祝について 7月11日(金) 大隈会館 理事会

小沢信三郎先輩の古稀の祝賀会(前場) 7月16日(木) 杉山事務所 緊急理事会
(出席) 堀江 浜田 杉山博 舟岡 加藤文 以上5名

(議題) ①小沢先輩古稀の祝、収支決算と礼状その他について

②全日本学生選手権大会遠征費用の件
④470級、スナイプ級の建造費の支払計画等について
④ヨット部への援助金について

8月7日(木) 永楽クラブ 理事会
(出席) 小沢 堀江 米田秀 安藤(一) 浜田 杉山博 舟岡 加藤文 小坂順 (議事) ①小島合宿所と早風会の開催についての意見交換
②大学の百年祭の動きについて
③ヨット部への建造費、遠征費の援助として五〇万円贈呈

④会報発行の原稿依頼—9月発行
⑤名簿委員メンバーを40年代が中心に11月発行を目指し企画、編集へ

8月28日(木) 永楽クラブ 世話人会
(出席) 安藤 杉山博 舟岡 加藤文 石田 杉井 小坂順 浜田

(議事) ①実技開講の報告—8月30日—9月5日まで 安藤講師より
②全日本学生選手権大会結果及び、Tシャツの完版についてのお礼 (別掲) 加藤監督より

③四大学OB戦の件(別掲) 舟内より
④稲竜の遠征と決算・予算について 杉井より

⑤会報、名簿、早風会について

◎55年度会費とご寄附のお願い
早稲田ヨット部への援助と、私たち
のクラブ運営の為、本年も年会費一
万円と何分のご寄附をお寄せいた
きたくお願いします。
振込先 第一勧業銀行 日本橋支店
普通口座一四四五七三九
堀江 喜三ホリエキゾウ

第45回 全日本学生

ヨット選手権大会

(加藤監督 観戦記より)

8月14日より18日まで、於 西宮

お隣りの甲子園では早稲田実業、大輔旋風、ヨットも早稲田ブームを起さんと西宮の海に挑んだが、日大、同志社、の圧倒的な力の前にすすすもなく敗れ去り、戦い終ってみれば、**総合第6位**何とか辻褄だけは合せた次第で……

44年度の優勝が西宮、あれから苦節10年繰起の良い海面に現役諸君、張切つてレースに出場、第一日の二レース共これが早稲田かと考えてしまうようなレース展開し参加22校中 21位― 第二日目の朝の気合いの入れ方に熱気がこもる。それに刺激されたか、なんと………後のレースは尻上り、何とか早稲田の面目は保った。

今年のメンバーは下級生中心、上期達の已れを捨てて、チームの為にという心意気の現れ、特に地曳副将以下、中島、長谷山、川上、河瀬の面々良くぞ4年間クルーとして下級生の然にブルサガツテ呉れたと感謝の気持ち一杯、必ずや後輩達が来年、或いはその次の年には、全日本優勝という吉報を彼等上期にプレゼントするのでないでしょうか。乞うご期待 このたびの全日本学生選手権大会に、関西在住の宮川先輩を初め他多数のO・Bに応援していただきましたことを感謝すると共に遠征に際し多額のご寄附を頂戴しましたO・B各位には現役にかわり厚くお礼申し上げます。

「稲竜」西宮へ ― 8・23 ―

― 無事帰港 ―

なお「稲竜」はこの機会に西宮遠征を左記の日程で行ないました。遠征記は次の会報にて報告します。

- 8月1日、油壺―三戸浜を出発
- 8月6日、洲本サントピア―マリーナ
- 8月10日、西宮着 艇長④杉井
- 8月19日、西宮発
- 8月23日、油壺帰着 艇長④北川

この間②米田③中沢先輩にお世話になりました感謝。感謝。

全日本学生ヨット選手権大会及び稲竜遠征に関西諸先輩のご寄附ご支援ありがとうございました。左記の通りです。

- ⑩中塚 一万円、⑨菊川 二万円、⑧安藤順 一万円、他に⑮宮川⑯石川⑰米田で洋酒プラス二万円。

55年度 卒業予定者紹介

たのみますよ!! 後輩の就職先

。今年売り手市場か。

- ①氏名 ②部の係 ③生年月日
- ④出身高校 ⑤出身地 ⑥家族
- ⑦本人一言 ⑧就職希望先
- (本人より現文のままアイウエオ順)
- ① 風間利也 法学部 ② 主将
- ③ S 33・8・26 ④ 早稲田大学高等学院
- ⑤ 東京都千代田区⑥父(60才) 自営業
- 母:(50才) 姉(29才) 既婚 兄(27才) 家業従事
- ⑦ 雑草のような生命力とハガネのような精神力が私の身上です。

⑧ どの業種でもやり抜く自信有り。

- ① 河瀬健道(社) ② 副将
- ③ S 33・1・5 ④ 早稲田実業高校
- ⑤ 千葉県船橋市 ⑥ 父(盛重(58才)会社員 母(通子(49才) 姉(澄子(30才) 既婚
- ⑦ ガッツとフアイトが自慢
- ⑧ 英語能力の生かせる仕事

- ① 川上弘恭(かわかみひろやす)
- ② 稲竜係 ③ S 33・8・15
- ④ 早実高 ⑤

⑥ 父(龍三(50才) 会社役員、母(澄子(48才) 姉(恭代(24才) 家事手伝い) ヨット部始まって以来のオプティミストと自他共に認めている。又怒濤さかまく大海においてでも、ゲロをはき、天気図を正確且つ迅速にとれるというバイタリテイの持主である。

- ⑧ 広告代理業、商社、コンピューター
- ① 香田錦也(社) ② O・B係
- ③ S 33・7・18 ④ 兵庫県立竜野高校
- ⑤ 兵庫県竜野市 ⑥ 父(自営) 母、兄、姉、弟の6人家族
- ⑦ 中学、高校とサッカーで鍛えたこの体大学に入って4年間、ボールを持たずシートを引き続けやつの思いで全日本、内に秘めた熱い血が流れています
- ⑧ スポーツ用品を取り扱う企業
- ① 後藤ヒデコ
- ②
- ③ S 34・1・13
- ④
- ⑤
- ⑥

(次頁へ)

あつまれ、早稲田ヨットクラブOB

昔の岡本造船所へ(Y・C・C)

オリンピックの江の島へ

風は吹く 友は乗りぬ!!

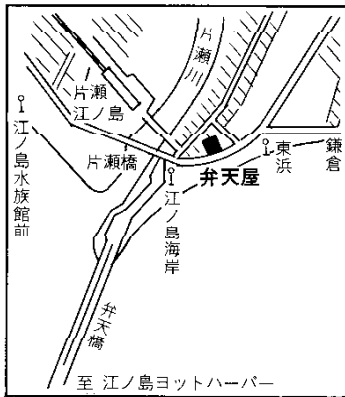
第十回四大学OB

ヨットレース案内

第一日 10・4(旧横濱クルージングクラブ(旧岡本造船所2ド))
TEL 〇四五―六二二九六二〇
18時―21時 懇親会 七千円

第二日 10・5(江ノ島ヨットハーバ) 開会式10時 一回戦11時 二回戦13時 閉会式16時 記念品その他あり
使用艇 OPデング級(各八艇) シーホース級(各八艇)

前泊必要の方へ江ノ島・弁天屋 宿泊費 一泊朝食付四、五〇〇円 懇親会出席者は会員バス(へべレケでも大丈夫)で弁天屋まで送ります。出席者は⑩舟岡まで二七―一四〇九三



- (前頁より)
- ⑦ 今就職戦線の真最中です。国文科でなくて英文科にはいればよかったと思つています。もしこれから大学へ行く女の子がいたら是非語学系か、理工系へ。4年間の大学生活とヨット部の経験を生かし、一流企業を目指してがんばりたいと思います。よろしくお願ひします。
 - ① 地曳克二(教) ② 副将
 - ③ S 33・11・19 ④ 早夫高
 - ⑤ 東京都中央区 ⑥ 父一良三(53才) 自営業 母一芳江(50才) 兄一英敏(24才) ヤマハ発動機勤務
 - ⑦ 健康で激務に耐えられる自信が人一倍あり、負けず嫌らい、生活信条は人に迷惑をかけること。
 - ⑧ 年功順列のような体質は大嫌いなので実力主義が第一の会社我希望。ネームバリューや安定性など無関係。
 - ① 橋 滋夫(タチバナ・シゲオ)
 - ② 字連(関東副委員長) S級
 - ③ S 34・3・8 ④ 早稲田実業
 - ⑤ 東京都渋谷区 ⑥ 身長一七七cm 体重68kg ⑦
 - ⑧ 大学四年間の経験を十分に生かせる、そして生涯続けられる職業に就きたい
 - ① 戸枝隆也(政経) ② OB係
 - ③ S 33・7・4 ④ 早稲田大学高等学院
 - ⑤ 東京都墨田区 ⑥ 父一延也(52才) 自営業 母一久枝(52才) 姉一晶子(24才) 会社員 弟一淳也(16才) 学生
 - ⑦ 今年の4年生唯一の留学生で私の卒業

は来年になっております。今年の全日本での事を踏み台にして新しい目標に向かって精進したいと思ひます。

⑧ 未定

- ① 中島健治(社) ② 主務
- ③ S 33・10・20 ④ 早夫
- ⑤ 東京都墨田区 ⑥ 父一隆治(53才) 自営業 母一房子(50才) 妹一富美子 学生(20才) 弟一止博 学生(17才)
- ⑦ 忍耐力は人並み以上、働き廻る事を好み暇を持て余す事を知らない。人の面倒をみるのが好きです。
- ⑧ 広告業界

- ① 長谷山 裕(社) ② 稲竜係
- ③ S 33・12・30 ④ 日大山形高校
- ⑤ 山形県 ⑥ 父・母・弟の4人
- ⑦ 雨の日も風の日も、稲竜と共に4年間世界の海を知りつくした青年艇長、航海距離四千八百五十三海里、激務に耐え得る体、不屈の精神か。
- ⑧ 観光旅行業界

昭和55年度会費納入者

会費納入及び寄附金のいたして下さった方々に感謝いたします。(8月末現在) 本年度 氏 名(太字は寄附金含む)

- 14 新名
- 15 植松 永元
- 16 高木 堀江
- 17 隈部
- 18 田窪
- 19
- 20

21	野木	清水	加藤	22	清水	加藤	23	大伏	湯沢	24	宮本	湯沢	25	漆原	渡辺	26	漆原	渡辺	27	河村	大塚	大津	佐伯	28	金沢	米田晴	安藤	米田秀	29	岩本	遊佐	高島	浅山	浜田	30	舟岡	安井	杉山	31	山崎	渡辺	武村	塚崎	32	清水	加藤	33	山品	34	山田	35	石田	角田	伊藤	36	石田	角田	伊藤	37	安藤	木村	出	38	浅野	千葉	杉山	山中	松島	39	大江	千葉	杉山	山中	松島	40	江上	斉藤	頼	小坂	41	石合	千津井	42	冬至	43	冬至	44	地島	45	原田	46	原田	47	林	藤井	48	恒川	藤井	49	冬至	大島	50	角田	大島	51	野口	斉田	橋本	渡辺	光武	52	野口	斉田	橋本	渡辺	光武	53	北川	54	小川	55	小川
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

早稲田ヨットクラブ

例会日程 1980

- (於永楽クラブ) 午後6時~8時
- 9月11日(木) 理事会
 - 10月9日(木) 世話人会
 - 11月13日(木) 理事会
 - 12月18日(木) 納会(忘年会)

*いつでも誰れでも出席自由

永楽クラブは TEL 03-231-6439

行事予定

- 9月 会報第8号発行
- 10月 早稲田大学ヨット部(学生)
- 11月 第19回早風会
- 12月 早稲田ヨットクラブ総会
- 1月 会報第9号発行

合計 会費納入 七三名
寄附金 三三名
「ヨット部」寄附金計、二五六、八〇〇円
内第一回 五十七万円 第二回 五十万円 その他小計 八万六千八百円

事務局より

米田晴二先輩がいなくなって事務局も若年の協力によりやつと軌道にのった感じ。編集も仕事の合間にあって遅くなる一方気がでない。やはり計画を立てて皆様の協力で……一人でやっていた米田さんはさすが今になってその苦労がわかるが……みんなのクラブ、一人でも協力してくれる人は参加大歓迎?後からあれもこれも入れなくてはと残念!

事務局 朝日生命・企業保険部
千一六〇 新宿区西新宿一七七一
(〇三)三四二二二一代内線三五二〇
自宅(〇四二六)四四一八二六一

③⑩ 浜田 裕